



# 再選めざす 日本共産党 そねはじめレポート

2010年 5月13日発行 第16号

そねはじめ事務所  
114-0032  
北区中十条2-11-6  
Tel: 3907-1135  
Fax: 3906-3225

## いまだ審議に入れない原因は自民党の妨害と法案の不備 北社保病院存続へ 6/16 会期末までに法案成立を！

### ●法案修正の骨子ようやくまとまる

新政権は昨年、社会保険病院の公的存続に大きく方針転換したものの、北社保病院等の委託の現状を無視し、全て国の「地域医療機能推進機構」直営とする不十分な法案がだされたため今国会に先送りされました。

最近ようやく「推進機構」直営に加え北社保病院等の委託運営も認める修正案がまとまり審議入り可能となりました。

### ●「自民は命かけて反対」の声も

ところが自民党やみんなの党などが「独立法人新設は民主党の公約違反だ」「命かけて反対する」などと、鳩山政権の普天間基地や政治とカネ問題の混乱に乗じ社会保険病院問題を攻撃材料にする党略的な動きが出てきました。北区議会で「現在の医療体制で存続を」と代表質問しながら、国会で存続法案に反対するのは区民を裏切る行為です。

北社保病院の現状を当初法案に盛り込まなかった民主党も責任が問われます。

### ●自民の審議拒否で委員会開かれず

厚生労働委員会は労働者派遣法改正案、子ども手当法案などがメジロ押しにもかわらず自民党の拒否で審議入りできない状態です。会期末は6月16日。

社会保険病院存続法案が成立しないと、次の臨時国会（9月末か10月に開会）では病院のいまの受け皿「整理機構（RFO）」の9月30日解散に間に合わず、病院の所有者不在という異常事態がおこりかねません。

### ●あとひといき!みんなの声を集めよう

「北社会保険病院の拡充を求める会」は連日地元の与党国会議員はじめ各党議員に、安心できる病院を求める北区民の声に応じて法案成立と社会保険病院の確実な公的存続のために行動するよう繰り返し要請しています。

日本共産党の小池あきら参院議員、そねはじめ前都議は建設的野党として病院存続に全力で取り組んでいます。

(写真: 社会保険病院の前に立つそね前都議)

### 「米軍再編費激増」認める 思いやり予算と合せ3370億円

政府の安全保障懇談会で、財務省が普天間「移設」費用も含めた米軍再編経費が、アメリカ言いなりで上限なしに膨れ上がり、3年前より約600億円も激増していると指摘しました。

とりわけ沖縄の米海兵隊のグアム移転や普天間基地の「移設」予算が約1兆円にのぼりながら、総額がいまだに不確定であり、米軍再編の総額3兆円も見直す必要があることを認めました。

